

参加者にはプレゼントあり

**参加費無料**

寺田寅彦像を撮影して  
3次元ミニチュアを作成しよう!

# デジタル拓本 体験教室

**2024年2月23日(金・祝)**

**13:15~15:00 (13:00受付開始)**

**場所：高知みらい科学館実験室  
(オーテピア5階)**

**参加対象：小学生4年生~大人**

★保護者同伴で小学3年生以下も参加可能

**参加人数：20名(先着順)**

**参加方法：事前応募制**

従来の  
拓本にも挑戦!



上記QRコードからお申し込みください。

**申込締切 2024年2月18日(日)**



主催：高知大学・海洋研究開発機構・高知みらい科学館

「自然災害伝承碑」ってご存じですか？

高知県には 過去の南海地震の災害を記録した石碑があります。それが自然災害伝承碑です。しかしその伝承碑は長年の風化のために、文字が読みにくくなっており、記録の保存は緊急の課題です。この大切な石碑の記録を未来へ伝える手段として、昔から伝わる「拓本」、最先端の技術を用いた「ひかり拓本」、そして複数の写真を使って構築する「三次元デジタルモデル」があります。この企画では、3つの記録方法を体験し自然災害伝承碑の理解を目指します。自然災害に警鐘を鳴らし続けてきた「寺田寅彦像」のデジタル拓本をみんなで協力して完成させましょう！



寺田寅彦像の見学



複数の写真を使った銅像の  
3次元モデルの作成体験



ひかり拓本(デジタル化した拓本)  
の体験



ふつうの拓本の体験

# 寺田寅彦像を 3Dデジタル技術で拓本しよう！

日 時：2024年2月23日(金・祝)  
13:15～15:00(13:00受付開始)

開催場所：高知みらい科学館実験室

受講対象：小学4年生～大人  
(保護者同伴で小学3年生以下も参加可能)

募集人数：20名(先着順)

参加費：無料

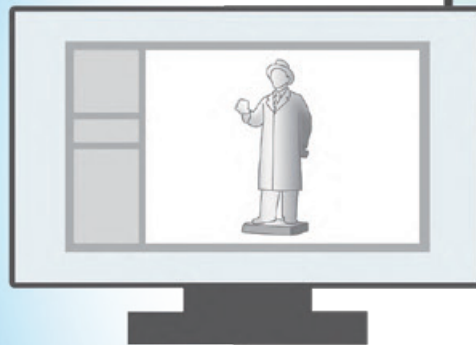
13:00 受付開始

13:15 体験教室

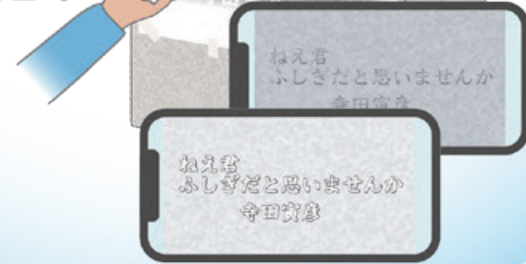
- ・自然災害碑の説明
- ・ひかり拓本と従来の拓本の作成
- ・3次元デジタルモデルの作成

15:00 終了・解散

3次元モデル  
の作成



拓本



ひかり拓本



<参加方法>

下記URL、もしくはQRコードから  
必要事項を入力してお申し込みください。

【締切 2月18日(日)】

<https://www.jamstec.go.jp/kochi/j/takuhon2024>



谷川 亘

海洋研究開発機構 高知コア研究所・主任研究員

寺田寅彦先生が残したとされる「天災はわすれたるころ来る」は、100年から150年周期で発生するとされる南海トラフ地震を表現するコトバとして、まさに「言い得て妙」です。そこで、本体験教室は寺田寅彦像を自然災害碑と見立てて災害碑を記録するさまざまな方法を体験します。ぜひこの機会にデジタル記録技術と災害碑の奥深さを体験しませんか？



山本 哲也

黒潮町教育委員会・黒潮町文化財保護審議会委員

拓本は物の形を紙に写し変えて伝達する保存方法のひとつとして発展してきました。釣り上げた魚を写す魚拓から書道の手本となる王羲之の蘭亭序など身近なところで拓本の世界は広がっています。私も文化財保護の仕事に携わるなかで、石造物、土器や瓦類、古鏡や銅鐻などの青銅器の拓本づくりにかかわったことがあります。拓本づくりを行うなかで、物に対する観察力や探究心が自然と養われることがわかります。きっと物と心のなかで何度も対話をしていた影響があったかもしれません。不思議な拓本の世界、皆さまも少しのそいでみませんか。



雨天決行

ただし、大雨・暴風・波浪警報等  
が発表されたときは中止します。

主催：高知大学・海洋研究開発機構・高知みらい科学館

お問い合わせ：海洋研究開発機構 高知コア研究所 管理課 TEL:088-864-6705 FAX:088-878-2192 メール:kochicore@jamstec.go.jp